

「クリエイターの話 ～ 私のイメージの源泉」

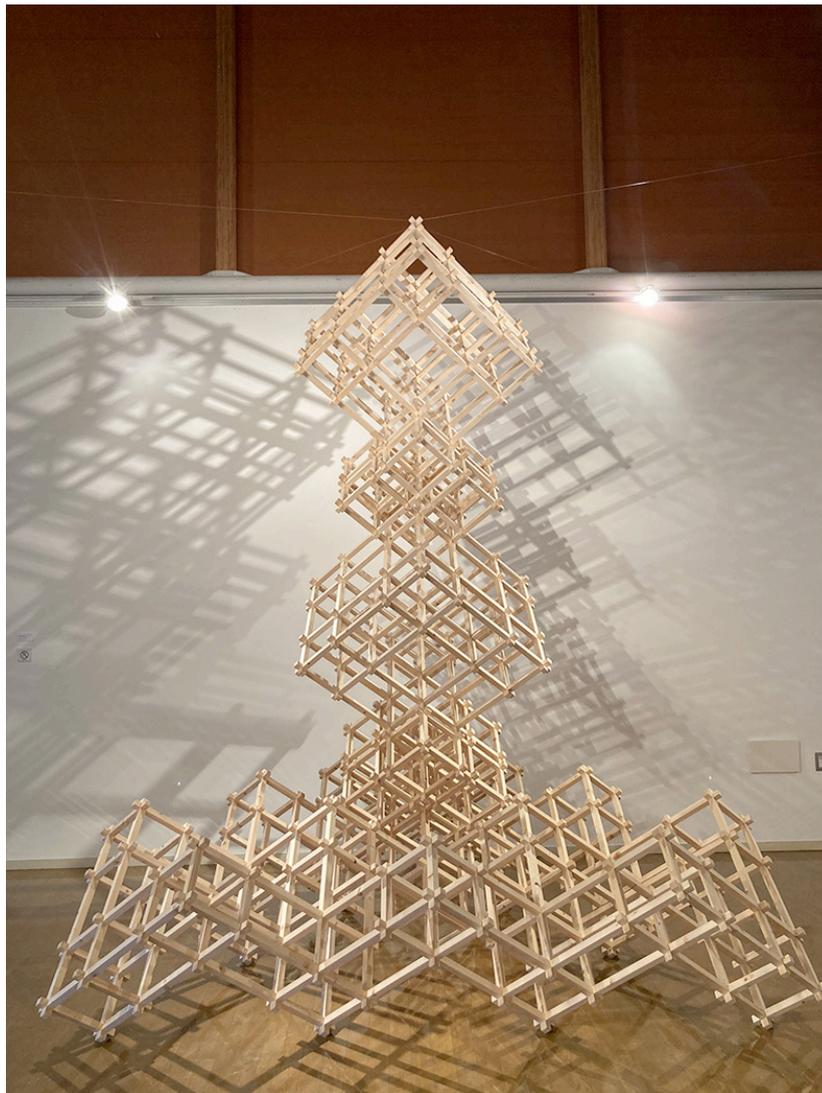
スペースデザイン部会員 福井 一真

大学3年生のときに受講していた木工の授業で、SD部の会員でもあった西村俊夫先生に「新制作に出さないか」と声をかけていただいたことが制作の原点です。

「新制作？スペースデザイン部？よくわからへんけど、木でなんかつくればいいんやね」とつくりはじめて今に至ります。木に切り込み（スリット）をたくさん入れると木がフニャフニャになる。学生の頃はこの面白さに惹かれて【挽き曲げ】の作品をしばらくつくってました。そこから格子状の作品をつくるようになると、格子を立体に展開するという発想に至ります。格子を立体にする手段として【四方十字組手（3本組手）】という技法に出会い、近年では cube（立方体）をベースに重層的な立体構造をもった「cubework（キューブワーク）」シリーズを手がけてきました。こうして振り返ると、色や形から作品をイメージするというよりは、出会った技法から「これで何ができるか」を追求していくスタイルが、自分の中で確立されてきたんだと、再認識できます。

2024.7.30-9.8の期間、高松市塩江美術館 30周年企画展の一環で個展【福井一真展 -cubeforest-】を開催する機会をいただきました。そこでは今回4メートルの高さのある作品【写真1】や、会場のスペースに合わせてcube構成を考える作品【写真2】など、組立に10時間以上要するような作品に挑戦しました。構想から1年以上かけてジックリ作品と向き合う時間がとれたことも自分にとって貴重な経験になっています。

【写真1：cubeforest1】



【写真2：cubeforest31】



組む箇所の数にだけこだわった本作品（写真3）は、300本の角材を1000箇所の四方十字組手で組み上げています。
【写真3：cubeforest1000】



まだ言語化できていませんが、この経験が今後のつくる作品のみならず、つくる姿勢や考え方に大きな変容をもたらしていくのだろうと考えています。本展の作品をつくりながらも、「こうしたら面白くなりそう」というアイデアがいくつか出てきました。

「cubework」シリーズも今年で 13 作品目になっていますが、頭の中にあるアイデアを消化するまではもう少し追求を続けていきたいと考えています。

【会場の様子】



【展覧会のチラシ】

cubeforest

福井一真展
FUMIKO KANKAWA

2024
7/30
〜
9/8

高松市塩江美術館 30周年
30th Anniversary 2024

高松市塩江美術館
Shirogane Art Museum

観覧時間
9:00〜17:00(入館は16:30まで)
観覧料
一般 300円、大学生 150円
(中学生は20名以上2割引)
高校生以下及び65歳以上の方、
障害者手帳の所持者、
塩江キャンパスメンバーズ制度
加盟大学等の学生は無料
休館日 月曜日
*休館日と重なった場合は、8/19(土)休館
主催 高松市塩江美術館

高松市塩江美術館は、今年で開館30周年を迎えます。それを記念して開催される第3弾の展覧会では、立体造形作家の福井一真（ふくいかずま 1979年京都府生まれ）の作品を御紹介します。

福井は、学生時代を新潟県上越市で過ごしました。学生時代に経験した「木」の素材の面白さと奥深さに惹かれ、現在は愛媛大学で教鞭をとりながら、接着剤や釘などを使用せずに木材を組み合わせる継手のひとつである「四方十字組手（しほうじゅうじくみて）」を用いた立体作品を制作しています。

本展では、高さ4メートルに及ぶ新作「cubeforest1」を含む、約7点の立体作品を展示します。福井が木製の立方体を複数組み合わせることで作り出す力強い表現や多様な表情を、ぜひお楽しみください。



cubework#10(2021)



cubework#11(2022)



cubework#12(2023)

【略 歴】

- 1979 京都生まれ
- 2001 第45回新制作展スペースデザイン部門（東京都美術館）入選
(以降、2003年を除く2010年まで毎年入選)
- 2003 上越教育大学大学院学校教育学部初等教員養成課程 卒業
- 2005 上越教育大学大学院学校教育学部初等教員養成課程 修了
- 2008 第72回新制作展スペースデザイン部門（国立新美術館）新作賞受賞
- 2009 兵庫教育大学大学院連合学校教育学部初等教員養成課程 修了
- 2010 愛媛大学教育学部 講師（美術科教育） 着任
新制作協会スペースデザイン部 会員推薦
(以降、2020年を除く現在まで毎年会員出品)
- 2018 福井一真展 cubework1 愛媛県美術館特別展示室2・3
- 【現在】愛媛大学教育学部専任教授（美術科教育）
新制作協会スペースデザイン部会員

【関連イベント】

- ワークショップ「つないでつないで不思議なカタチ」
内 容：つまようじをグルーガンでつなげて見たこともない不思議なカタチをつくる。
開催日：8月11日（日）
講 師：福井一真（出品作家）
時 間：14:00〜16:00
場 所：塩江美術館 デッキ
対 象：小学3年生以上
定 員：15名
参加料：600円（材料費含む）
申 込：8月1日（木）9:00〜電話にて受付
- アーティストレクチャー
内 容：出品作家少担当学芸員と作品解説を実施
開催日：8月17日（土）
講 師：福井一真（出品作家）
時 間：14:00〜30分程度（参加は多少前後する可能性あり）
場 所：塩江美術館企画展示室内
対 象：一般
参加料：観覧券が必要
※内容については、変更になる場合があります。

高松市塩江美術館 Shirogane Art Museum

アクセス

自動車：高松中央 IC または高松西 IC より約40分、塩江より約30分
飛行機：高松空港よりタクシーで約20分

高松市塩江美術館
〒761-1611 香川県高松市塩江町安原上602 TEL: 087-893-1800 FAX: 087-893-1833



- 1979年 京都市生まれ（現在愛媛県松山市在住）
- 2001年 第65回新制作展スペースデザイン部門 初出品初入選（以降、毎年出品）
- 2006年 音の彫刻コンクール2006 準奨励賞受賞
- 2008年 第72回新制作展スペースデザイン部門 新作家賞受賞
- 2009年 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科（上越教育大学配属）修了
- 2010年 愛媛大学教育学部美術教育講座（美術科教育）着任（現在に至る）
- 2010年 第74回新制作展スペースデザイン部門 会員推挙
- 2018年 cubework 福井一真展（個展：愛媛県美術館）
- 2019年 カタチカラ 2019（グループ展：愛媛県美術館）